

令和 7 年度
川崎市総合福祉センター
指定管理事業報告書

令和 8 年 5 月

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

目 次

1	はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	管理業務の実施状況	
	(1) 地域福祉情報バンク事業について・・・・・・・・	2
	(2) 社会福祉研修センター事業について・・・・・・・・	6
	(3) 施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について・・・・・・・・	8
	(4) ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について・・・・・・・・	8
	(5) 事業の周知方法について・・・・・・・・	8
	(6) 施設及び設備の維持・管理について・・・・・・・・	8
	(7) 管理経費の縮減に対する取り組みについて・・・・・・・・	11
	(8) 個人情報の取り扱いについて・・・・・・・・	11
	(9) 安全管理への取り組みについて・・・・・・・・	12
	(10) 利用者からの意見・要望等への対応について ・・・・・・・・	12
3	収支状況	
	川崎市総合福祉センター収支状況・・・・・・・・	14
4	まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・	15
5	資料	
	(1) 地域福祉情報バンク事業資料（資料1）・・・・・・・・	17
	(2) 社会福祉研修センター事業資料（資料2）・・・・・・・・	20
	(3) 施設・設備の利用提供事業資料（資料3）・・・・・・・・	22

1 はじめに ～三つの指定管理事業～

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会（「以下「本会」）では、川崎市総合福祉センター条例等に基づき、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで、指定管理者として川崎市総合福祉センター（以下「センター」）の管理運営を行いました。

ホール、大会議室、第1・第2・第3会議室及び和室を利用される方々への安全で快適な利用を最優先にした運営管理に努めました。

また、本会としては、これまで取り組んできた「地域共生社会」の実現、「地域包括ケアシステム」の構築、「防災と災害支援」に引き続き取り組むため、財政の健全化を図りつつ、全市レベルの視点でガバナンスを確保しながら地域の特性に応じた地域福祉の推進をより柔軟かつ機動的に行っております。指定管理事業におきましても、令和7年度は、これまでの経験を活かし、川崎市総合福祉センターの指定管理事業の一層の充実と感染予防対策を徹底した、より安全で利用しやすい施設の管理運営を目指して、次の三つの指定管理事業に取り組みました。

- (1) 「地域福祉情報バンク事業」では、ア 情報の収集及び提供事業、イ 福祉相談事業の2本の柱を中心とした事業を実施しました。

ア 情報の収集及び提供事業については、地域福祉情報バンク用データベース「かわさき福祉情報サイトふくみみ」を再構築し、行政や民間の福祉関係機関から収集した各種福祉制度やサービス情報、地域のインフォーマル情報等様々な福祉情報を収集、データベース化し、市民の方が自分のニーズに合った地域福祉情報を取り出せるよう管理・運営を行いました。また、「ホスピタリティ」「毒親・教育虐待」「グリーフケア」「ビジネスケアラー」など最新の福祉に関する図書、DVD等の媒体を収集し、市民に提供しました。

イ 福祉相談事業については、総合的な福祉の相談「ふくし相談」に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じつつ、その中でも高い専門性が要求される相談については、精神科医師・弁護士・臨床心理士による「専門相談」につなぎ、きめ細やかな相談対応を実践しました。また、「総合相談支援システム」を運用し、相談内容のデータベース化を行うことで、相談対応の効率的かつ効果的な実施と適切な情報管理、事務処理を行いました。

- (2) 「社会福祉研修センター事業」については、地域包括ケアシステムの推進を目的とし、多様な研修ニーズに対応した①地域包括ケア推進研修、②地域課題研修、③地域活動促進研修を延べ27回実施しました。

地域包括ケア推進研修は、多様性の理解と支え合いを共通テーマとし、メンタルヘルス、防災、権利擁護、障害理解など、地域包括ケアを支える基盤的な知識習得を目的とした研修を実施しました。

地域課題研修は、依存症、ヤングケアラー、自殺予防など、現代社会において潜在化しやすい地域課題に焦点を当て、正しい理解の促進と支援ネットワークの構築を目指しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化に資するレクリエーション技術や、ICT活用（スマ

ートフォン、動画編集）などの実践的なスキルアップ支援を通じ、次世代の活動担い手の育成を図りました。

- (3)「施設・設備の利用提供事業」については、ホール、大会議室、第1・第2・第3会議室及び和室の安全で快適な設備を備えた施設の利用を促進しました。

ホール・各会議室・和室の利用に向けて、感染予防対策を徹底するため、手指消毒剤、サーマルカメラの1階・3階の出入口への設置、1階事務室内のホール打合せコーナー横の高性能空気清浄機・加熱気化式加湿器の設置を継続して行い、館内の衛生環境の改善に取り組みました。

また、センター条例及び施行規則等に基づき公平な利用提供を行い、利用者にとって使いやすい施設となるよう状況に応じて柔軟な管理運営を心がけ、利用者の要望の把握と改善に努めることにより、施設の利用促進を図りました。

センターの安全性と快適性、衛生環境の向上を図るため、経年により故障や劣化した設備等の修繕については、優先順位を検討する中で実施しました。

上記(1)(2)(3)に記載した三つの指定管理事業の令和7年度における取り組み結果について、以下のとおりご報告いたします。

2 管理業務の実施状況

(1) 地域福祉情報バンク事業について

ア 情報の収集及び提供

- (ア) 地域福祉情報提供サイトシステム「かわさき福祉情報サイトふくみみ」の管理・運営事業

市民が主体的に福祉サービスを選択できるようにすることを目的として、インターネットによる市民への福祉サービス情報発信システムの一元管理・運営を行いました。

a ボランティア・市民活動団体実態調査事業

「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に掲載するボランティア・市民活動団体の確認作業を行い、データベースの更新を実施しました。

b 地域福祉情報データベースの管理

川崎市内で活動する福祉に関する団体、福祉サービス、講師情報、福祉に関する図書等のデータベースの登録・更新作業を行い、市民にとって利用しやすいウェブサイトを目指し管理運営を行いました。また、登録団体から依頼されるイベントや各種研修等の情報、川崎市や厚生労働省などの最新ニュースを随時更新しました。(掲載依頼 128 件)



(イ) 情報発信事業

a かわさき福祉情報サイトふくみみ Facebook ページの運営

かわさき福祉情報サイトふくみみ Facebook にて、かわさき福祉情報サイトふくみに掲載している研修・イベント情報や、助成金情報、地域福祉情報バンクの図書・DVD 情報等を発信し、利用の促進を図りました。

b 市社協ウェブサイトとの連携

ウェブサイトでは、迅速な情報配信を実現するために新着情報や災害関連最新情報について、関係機関と連携して更新作業を随時行いました。また、ページレイアウトや記事の見直し、リンクの再配置等についても適時行いウェブサイトの利便性の向上に努めました。

c 地域福祉情報バンク通信発行

地域福祉情報バンクの存在と機能を広く広報・PRするため、地域福祉情報バンク通信を年 4 回発行しました。

2025 年春号、2025 年夏号、2025 年秋号、2026 年冬号

(発行部数 季刊各 7,000 部/合計 28,000 部)

送付先：地域包括支援センター、障害者相談支援センター

市民館、図書館、区役所、地域見守り支援センター

ボランティア団体、図書利用登録者、各区社協

小学校、中学校、高校、大学、高齢者施設

障害者施設、病院、地域子育て支援センター

こども文化センター、郵便局等

(1,934 か所 7,000 部×4 回の 28,000 部送付)



(ウ) 地域福祉情報広報活動事業

a 「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に関する広報活動

・「かわさき福祉情報サイトふくみみ」

パンフレット（リーフレット）

：各種イベントや研修等を中心に約 900 枚を配布。

b その他の広報活動

- ・図書パンフレットの配布：新規利用者や来所者等に図書等の貸出についてパンフレットを渡してわかりやすく説明を行い、利用の促進を図りました。
- ・本会の研修部門（福祉人材バンク等）と連携し、川崎市総合福祉センターを会場に実施される研修にて、地域福祉情報バンクのPRや研修開催主旨に合わせた図書・DVD等の情報提供を行い、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。（「図書パンフレット」・「地域福祉情報バンク通信」・「かわさき福祉情報サイトふくみみパンフレット」・「専門相談のご案内チラシ」を約900部配布）
- ・ボランティア交流室利用団体を対象に、「地域福祉情報バンク通信（各号×4回）」を配布し、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。
- ・ボランティア活動振興センター入口に「おすすめ図書コーナー」、センター内に「新着図書コーナー」、「福祉マンガコーナー」を設置し、来館者への情報提供を行いました。
- ・地域福祉情報バンクのPRのため、クリアファイル・うちわを作成しイベント・研修等で配布しました。



(エ) 情報提供事業

①図書資料、DVD等の閲覧・貸出サービスの実施

社会福祉・保健及び関連分野の図書資料等を収集し貸出を行いました。また、各区社会福祉協議会でも返却可能とし、利用者の利便性の向上を図りました。

- ・図書資料所有数：図書 4,624 冊／DVD・ビデオ 565 本
- ・新規登録者数：53 名 (-18 名)
- ・図書貸出・閲覧者数：1,291 名 (+99 名)
- ・利用者数：962 名 (+12 名)
- ・貸出件数：2,103 件 (+3 件) (図書 1,965 件 (+13 件) ／DVD・ビデオ 138 件 (-10 件))
- ・コピー機 (一般利用)：59 人 (+16 件)

②情報提供検索用パソコンの利用サービスの実施

市民の方が気軽にインターネットを通じて、地域情報を検索・閲覧ができるようにパソコンを設置し、情報収集の支援を行いました。

- ・利用者数：47 名 (-25 名)

イ 福祉相談事業

(ア) 総合相談事業

a ふくし相談事業

- ・総合的な福祉の相談に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じました。
- ・相談件数：361 件
- ・相談内容は、「家族関係」「生計」「地域情報」の順に多く寄せられました。家族関係については、離婚や相続、財産に関する相談が多くありました。また、生計に関する相談では、生活困窮のため食料支援を求める声に対し、生活状況の丁寧な把握を行うとともに、区役所等の関係機関と連携しながら、時間をかけて支援を行いました。
- ・相談員の資質向上 (研修会への参加)

b 地域福祉情報バンクへの相談

- ・福祉団体、地域情報、助成金等についての相談や、「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に関する相談に応じました。
- ・相談件数：216 件

c 総合相談支援システムの運用

- ・総合相談支援システムの運用により、過去の相談対応における問題解決等のノウハウを蓄積し、相談対応の効率的かつ効果的な実施と適切な情報管理、事務処理を行いました。
- ・「社会福祉研修センター事業 (川崎市福祉人材バンク)」と連携し、「地域福祉関係研修 (ストレスマネジメント講座)」として、総合相談システムに蓄積した事例を活用した研修を実施しました。(6/27)
- ・ボランティア活動振興センター事業として、電話相談に焦点をあて、相談業務に従事している職員の資質及び対応技術向上を目的とした「電話相談実務者研修」を実施し、基礎編に

は25名の方が、応用編には19名の方が受講されました。(11/18・3/4)

d 総合相談事業における広報活動

- ・「地域福祉情報バンク通信」、「専門相談のご案内(後述)」、啓発グッズなどで周知しました。

(イ) 専門相談

- ・専門性の高い内容の相談を各専門職の相談員に対応いただきました。
- ・専門相談員：3名(精神科医師・弁護士・臨床心理士／各月2回)
- ・相談件数：83件

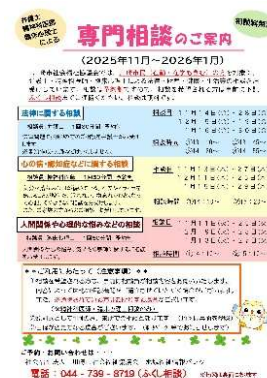
a 専門相談における広報活動

- ・「専門相談のご案内」チラシを配布。チラシに、よりわかりやすく相談時間を記載しました。

送付先：地域包括支援センター、障害者相談支援センター、市民館、図書館、区役所地域見守り支援センター、各区社協、老人福祉センター、いこいの家、高齢者施設、障害者施設、病院等

(チラシ 約800か所 5,000部×4回の20,000部送付)

- ・地域福祉情報バンクミニチラシの作成・設置
(100枚作成し、総合福祉センター各階に設置)



(2) 社会福祉研修センター事業について

地域包括ケア推進を目的に、①地域包括ケア推進研修 ②地域課題研修 ③地域活動促進研修を実施しました。

地域包括ケア推進研修は、多様性の理解と支え合いを共通テーマとし、地域包括ケアを支える基盤的な知識習得を目的に、「ストレスマネジメント」「楽しく学ぼう！防災のこと」「知っていますか？遺言書づくり」「知的・発達障害のある人と家族を支えるために」(2回)「知っていますか？保護司の活動」「知ろう！高次脳機能障害」「子どもは育ちなおしの名人」、7テーマ延べ8回開催しました。

地域課題研修は、依存症やヤングケアラー、自殺予防など、現代社会において潜在化しやすい課題への正しい理解と支援ネットワーク構築を目的に、「認知症サポーター養成講座」(2回)「ドローン体験交流会」(3回)「ヤングケアラー理解研修」「知っていますか？オーバードーズ」「ゲートキーパー研修」「アルコール依存症理解研修」「津久井やまゆり園の取材から伝えたいこと」、7テーマ延べ10回開催しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化に資する技術や、ICT活用等の実践的なスキルアップ支援を目的に、「初級者向けスマホ活用研修」(2回)「よしもと Let's レクリエーション」「はじめてでもできるバルーンアート」(2回)「まずは姿勢から★健康UP研修」「社会的処方ってなあに?」「インターネットセキュリティを学ぼう」「はじめての動画編集」、7テーマ延べ9回開催しました。

研修内容等の企画・実施にあたっては、十分な感染予防対策を講じ、すべて会場にて開催しました。さらに、「孤独・孤立対策推進法」への対応といった新たな社会的要請を背景に、「社会的処方」などの重要テーマを取り入れるとともに、可能な限り動画を公開し、アーカイブ視聴を可能にすることで参加促進に努めました。社会福祉協議会が運営する川崎市総合福祉センターと連携し、ニーズ分析や検討を重ね、より市民の方へ効果的な研修を実施することに努めました。

令和7年度地域包括ケア推進研修
～人生をより豊かに/始めよう！～

知っていますか？ 遺言書づくり

遺言書ってどうやって作成するの？どんな種類があるの？
遺言書に関する基礎知識を学び、自分らしく、より豊かに
生きていくために役立ててみませんか。

日時 令和7年11月5日(水) 13時30分～15時30分
場所 エポックなかはら6階研修室
定員 25名(定員を超えた場合は抽選)
対象 川崎市在住・在勤・在学
講師 司法書士 稲崎 南 氏

申込みは左の二次元コード
文で、川崎市福祉人形パンフレットより
→ <https://kawasakiregion.jp/>
→ 申込みフォーム

申込締切: 令和7年(10月20日) 10時迄

山口達也さんによる
アルコール依存症と共に生きる
～セカンドチャンスを目指して～

■昨年9月12日、山口達也さん、アルコール依存症について、当事者はどのような気持ちで、
生きていくのか、というテーマで、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)で講演しました。

講師 山口達也 氏

■定員: 600名
(川崎市福祉人形パンフレットより)

■申込み・申込
■申込: 川崎市福祉人形パンフレットより、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)の申込み
■申込: 川崎市福祉人形パンフレットより

■日時: 12月12日(金) 13:30～15:30
申込締切日: 11月16日(月) 10:00
■会場: 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 3階 ホール

令和7年度地域活動促進研修
よしもとスポーツ
Let's レクリエーション

～よしもとの皆さんから「レクリエーション」を体験～

お楽しみながら「レクリエーション」を体験
いろいろなゲームやレクリエーションの紹介
いろいろなゲームやレクリエーションの紹介
いろいろなゲームやレクリエーションの紹介

【日 時】 2025年7月31日(木)
13:30～15:30 (13:00受付開始)

【講 師】 アホマイルド坂本・ジョイマン・おんちんちゃん
【会 場】 川崎市総合福祉センター
(エポックなかはら 7階大会議室)

【定員】 無料
【対 象】 50名(お申し込みした場合は抽選)
【対 象】 川崎市内に在住・在勤・在学の学生からおとなまで
の男女・2歳以上は参加可(抽選に当選してください)

【申込方法】
こちらの申込フォームから

【申込締切】 7月10日(木) 10時

【会 場】
〒211-0053
川崎市4区上小田4-6-22-5
川崎市総合福祉センター
(エポックなかはら)
川崎駅 徒歩10分



（３）施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について

総合福祉センター条例及び施行規則等に基づき、より安全で適正な施設・設備の利用提供事業の実施に努めました。

その結果、利用状況は施設全体（ホール、大会議室、第１・２・３会議室、和室）で、年間６，０９３件（利用区分）の貸出可能件数のうち３，４８８件の利用があり、稼働率は５７．２％でした。（利用状況は、別紙資料「利用状況一覧表」を参照）

（４）ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について

１階センターの受付窓口、エレベーター横と７階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めました。

施設管理について、その全ての職員の情報の共有を図るため導入したグループウェアを活用することにより、施設の管理運営の円滑化を図りました。

また、重要な案件や大きな問題については、本会内部で組織的に検討を行うとともに、川崎市所管課とも協議しながら、対応・改善に努めました。

地域との連携・交流等については、川崎市立中央支援学校「インターンシップ（校外授業）４月～３月の通年（週２日程度。時期・学年により異なる。）」に協力しました。

（５）事業の周知方法について

センターのホームページで事業を広報するとともに、リーフレット（センター概要案内）、社会福祉研修センター事業の各種研修募集案内（チラシ）、地域福祉情報バンクの案内（ボランティア活動振興センターの事業案内リーフレット）、施設・設備の利用提供事業の案内（貸し館事業のパンフレット）を、区社会福祉協議会、区役所、公共施設、関係機関・団体などに配布して、センターの概要並びに事業の周知を図りました。

また、手続き書類のメール受付や問い合わせ等のメール対応の拡充による利便性の向上に努めました。

（６）施設及び設備の維持・管理について

専門性を必要とする業務については、適性かつ効率的な管理運営が行えるように、専門業者に委託して維持・管理を行いました。

また、センターの安全性と快適性を高めるために、経年劣化した設備の故障・破損について優先順位を検討して修繕を実施しました。

① 外部委託した専門業務

※ [] 内は、再委託先

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
1	総合管理業務	令和７年４月１日 ～令和８年３月３１日	セントラル総業(株)

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
2	舞台運営管理業務	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	(株)サイオー
3	保安警備及び駐車・駐輪場 管理業務	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	セントラル総業(株)
4	日常清掃	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	セントラル総業(株)
5	定期清掃	6・9・12・3月	セントラル総業(株) [有和商事]
6	害虫駆除	5・11月	セントラル総業(株) [(株)マルマ]
7	自家用電機工作物保守	毎 月	セントラル総業(株) [(財)関東電気保安協会]
8	舞台等照明設備保守	8・2月	(株)サイオー
9	舞台等音響・映像設備保守	6・12月	(株)サイオー
10	舞台機構設備保守	5・9・1月	(株)サイオー
11	ピアノ保守	6・12月	(株)サイオー
12	電気時計保守	12月	セントラル総業(株) [アイ通信工事(株)]
13	立体駐車場設備保守	毎 月	セントラル総業(株) [IHI運搬機械(株)]
14	自動ドア保守	6・10・2月	セントラル総業(株) [寺岡オートドアシステム(株)]
15	エレベーター保守	毎 月	セントラル総業(株) [(株)日立ビルシステム]
16	シャッター保守	3月	セントラル総業(株) [東洋シャッター(株)]
17	非常用自家発電設備保守	5・11月	セントラル総業(株) [協同電機(株)]
18	案内表示板保守	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	東横システム(株)
19	一般廃棄物・産業廃棄物収集 処理（蛍光灯類除く）	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	(有)国豊
20	産業廃棄物収集処理（蛍光灯 等ランプ類）	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	(株)早船
21	玄関マットリース	毎 月	(株)ユニマットライフ
22	パソコン	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	東横システム(株)

② 施設・設備の主な修繕（税込み）

	修 繕 名	内 容	金額 (円)	業者名
1	油圧高所作業台年次点検	油圧高所作業台年次点検の実施	49,500 円	(有) スエ・ハイドロリック
2	フラッシュバルブ交換工事	1 階楽屋横の女子トイレのフラッシュバルブを交換	162,014 円	株式会社フューモ
3	非常電源用蓄電池交換工事	耐用年数を超過しているため交換	1,386,000 円	セントラル総業 (株)
4	消防設備改修工事	経年劣化により、水漏れが生じているため改修	616,000 円	セントラル総業 (株)
5	湧水槽電極棒交換工事	耐用年数を超過しているため交換	62,700 円	セントラル総業 (株)
6	冷温水発生器 1 号機冷却塔ファンベルト交換工事	経年劣化のため交換	176,000 円	セントラル総業 (株)
7	パワーコンディショナーファン交換工事	故障が生じたため交換	242,000 円	島田電設工業株式会社
8	エレベータードアの開閉駆動用ベルト交換工事	経年劣化のため交換	157,300 円	セントラル総業 (株)
9	楽屋トイレ手摺取付け工事	利用者からの要望 バリアフリー化の為	231,660 円	株式会社フューモ
10	小便器センサー交換工事	6 階男子トイレの小便器のセンサーを交換	289,740 円	株式会社フューモ
11	3 階アプローチ広場手摺根本コーキング修繕工事	2 階の雨漏り対策のため工事	47,300 円	ジェクト株式会社
12	エレベーター 3 号機冠水被害復旧工事	令和 7 年 9 月 11 日の大雨被害によるリミットスイッチの交換	143,000 円	セントラル総業 (株)
13	3 号機エレベーターピット排水工事	令和 7 年 9 月 11 日の大雨被害による排水作業	374,000 円	セントラル総業 (株)

14	送排風機整備工事	V ベルトの交換工事	55,000 円	セントラル 総業（株）
15	ワイヤレスマイク 更新工事	旧規格の為、大会議室と第 3 会議室 のワイヤレスマイクの更新	2,200,000 円	ヒビノス ペーステック 株式会社
16	2 階非常口 SD ドア 取替工事	舞台上手の非常口ドアの交換	874,368 円	株式会社フ ューモ
17	2 階非常口マグネ ットセンサー脱着 工事	16 のドア交換の際のセンサーの脱着	125,400 円	セントラル 総業（株）
18	ホール入口フロア ヒンジ取替工事	ホール入口ガラス扉のフロアヒンジ の交換	351,450 円	株式会社フ ューモ
19	大会議室調光盤緊 急点検修繕工事	大会議室の照明に不都合が生じたた め緊急点検作業	184,800 円	株式会社サ イオー
20	簡易専用水道検査	水道法第 34 条の 2 第 2 項に基づく検 査	20,900 円	株式会社サ イオー

（７）管理経費の縮減に対する取り組みについて

外部委託した主な専門業務については、経費の節減と業務の質の向上を目的として、入札にあたり、提案内容回答書の提出を求め、円滑な管理運営を行いました。

また、電気料金の高騰を受け、契約中の電力供給会社以外から見積書を徴収し比較検討を行ったうえで東急パワーサプライ（株）との契約を継続することとしました。

修繕については、軽微なものでセンターのスタッフが修理可能なものは、経費を節約するため極力自前で行うとともに、外部業者に修理を依頼する場合には、実績のある業者を選定し見積りを依頼して発注するなど、経費の縮減に努めました。具体的には、トイレや洗面台の漏水や換気扇等の異音を発生する機器の修繕などについて部品を購入して修理したり、ホール扉の高さ調整などについて設備担当者が実施しました。

（８）個人情報の取り扱いについて

「個人情報の保護に関する法律」、「川崎市社会福祉協議会個人情報保護規程」、「川崎市社会福祉協議会情報セキュリティガイドライン」及び「川崎市社会福祉協議会職員倫理綱領」に基づき、個人情報を適性かつ安全に取り扱い、適切な管理に努めました。

個人情報が記載されている書類等の取り扱いについては、必要に応じて目隠しをしたうえで複数人による確認のうえ発信することに加えて、決められた保管場所に保管するなど適正に管

理し、不要になった場合は、シュレッダー等を使用して復元できない形にするなどして適切に処分しました。また、誤送信による情報流出を防ぐため、メールや FAX を送信する際は、チェックリストを活用しながら複数人で送付先や添付資料等を確認し、必要な個所に目隠しをするなど、対応を行っています。

(9) 安全管理への取り組みについて

①事故防止への取り組みと事故発生時の連絡報告体制

危険や異常を早期に察知できるように警備員による館内巡回を行うとともに、事故等の危険が予測される箇所については、改善、又は表示を貼付けるなどして注意喚起を促すなど、事件・事故の予防に努めました。

緊急連絡体制については、委託業務の責任者等を含めた有人・無人時における連絡体制を整え、連絡網を作成して関係者に配付し、周知を図りました。

修繕工事の実施にあたっては、工事業者と綿密な調整を行い安全管理や注意喚起を行うとともに、会館と各工事業者とのスケジュール情報の共有により会館利用者に支障が生じないようにしました。

また、センター内の従事者及び市社協職員を対象に消防避難訓練を2回（令和7年4月23日（昼間）、令和7年10月22日（夜間想定））実施し、通報・避難誘導、緊急連絡・伝達、防火扉・消防設備（消火栓・消火器）操作等の訓練を行いました。

②発生した事故等の内容、件数、対応状況

事故・急病・怪我については、発見・確認次第、迅速な対応に努めました。物損事故・利用者等の体調不良による救急車の出動はともに1件でした。

③集中豪雨による浸水被害への対応

令和7年9月11日の午後に発生した集中豪雨において、館内が浸水する事態となりました。地下のエレベーターピットの水没によりエレベーターが停止しましたが、閉じ込めなどの人的被害はありませんでした。排水作業を迅速に完了し安全点検を実施したうえ、翌日には運転を再開し利用者のご不便を最小限に抑えて復旧することができました。また、同様の被害を受けた武蔵中原駅ラチ外エレベーターの復旧までの間、当館エレベーターを供用しました。一方、1階事務室に設置していた電話交換機が浸水被害を受け機能を停止いたしました。この間、一部携帯電話により対応し業務を継続し、約1か月後に全面復旧しました。

(10) 利用者からの意見・要望等への対応について

3階ホワイエ、1階エレベーター横、7階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めるとともに、苦情受付の対応と体制を明示して苦情の解決に努めました。

意見箱に投函された「意見用紙」及び苦情受付の「苦情申出書」等により、次のとおりご意見等をいただき、適切に対応しました。

(意見等)

	日 付	意見要旨	回 答 (対 応)
1	令和7年11月 (館内 ご意見用紙)	・トイレに子供用の設備が欲しい	・各階トイレの個室内にベビーキープやおむつ交換台の設置済みであることと今後の施設づくりの参考にします。
2	令和7年11月 (ホームページ メール)	・ヨガやストレッチなどで和室を利用する際、マットを1枚100円程度で貸し出しをしてほしい。	・衛生面の観点から、レンタルは見送りさせていただきました。
3	令和8年3月 (館内 ご意見用紙)	・7階ロビー（共用部分）で騒ぐ人がいるので、注意喚起の貼紙を掲示してほしい。	・貼紙を作成し、掲示しました。

3 収支状況

川崎市総合福祉センター収支状況 令和7年度

(収入)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
【収入】	197,526,394	
施設利用料金	31,729,650	施設・設備の利用提供事業利用料
指定管理料	164,916,720	原油価格・物価高騰への対応に伴う一部補填を含む
その他	880,024	清涼飲料水自動販売機設置手数料等

(支出)

	決算額(b)	摘要(積算内訳)
【支出】	203,062,211	
人件費	49,420,570	報酬・手当・法定福利費等
事務費	140,266,587	業務委託料・水道光熱費・修繕費等
事務消耗品費	2,304,924	センター管理業務消耗品、保健衛生品購入※器具及び備品含む
水道光熱費	26,326,561	センター水道・電気・ガス料金
修繕費	7,727,132	補修工事他(指定管理修繕分)
業務委託料	101,402,319	センター管理業務・保守点検業務等委託料
その他経費	2,505,651	人事管理費・賃借料他
事業費	9,609,954	情報バンク事業・研修センター事業に係る経費
報償費	2,660,000	研修センター事業研修講師謝金・情報バンク専門員報酬
通信運搬費	703,996	情報バンク事業回線使用料、研修センター事業切手代等
委託料	1,795,065	情報バンク事業情報提供サイト保守等
その他経費	4,450,893	広報費・印刷製本費他
消費税	3,765,100	

4 まとめ

令和7年度は、各事業計画に沿って事業の一層の充実を図り、利用しやすい施設の管理運営を目指して、「地域福祉情報バンク事業」、「社会福祉研修センター事業」、「施設・設備の利用提供事業」を着実に実施してまいりました。

「地域福祉情報バンク事業」では、情報収集・提供事業として「かわさき福祉情報サイトふくみみ」の情報を随時更新するとともに、掲載内容の充実を図りました。昨年度に引き続き、SNS等での情報取得が難しい方への配慮として、読み上げ機能の設置をはじめとするアクセシビリティの向上に取り組みました。また、社協内の研修部門との連携、広報啓発グッズの活用などにより、広報の機会を増やす事で事業の利用促進につなげました。福祉相談事業については、上記広報啓発グッズの活用などで、困ったときにすぐに相談できる相談窓口であることを積極的に周知し、寄せられた相談に対して「ふくし相談」「専門相談」の窓口の適切かつ柔軟な運用によって、課題解決に向けてきめ細やかな市民対応を行いました。

今後も福祉情報の発信の強化と相談事業の充実に努めてまいります。

「社会福祉研修センター事業」につきましては、これまでの実績値および受講者アンケートから得られた精緻なニーズ分析に基づき、幅広い世代の参加を促進する魅力あるプログラムを展開いたしました。専門家による質の高い講義と体験型研修を適切に組み合わせることで、参加者の知識・意欲の向上に寄与し、地域包括ケアシステムの構築に向けた人材育成と意識啓発において確かな成果を得ることができました。

「施設・設備の利用提供事業」につきましては、ホール、楽屋、大会議室、第1・2・3会議室、和室の各室について、利用される方々が快適に利用いただけるよう、安心安全で快適な施設の提供に努めました。

利用者からの要望に応じて、ホール利用者が使用する第3楽屋に付属したトイレに手摺を設置いたしました。大会議室の音響設備を更新し、音質及び利便性を向上しました。ホールのホワイエにおいてホール内の映像を投影するモニター利用を無料化しました。川崎市の熱中症対策の取組である「ちょこ涼」に引き続き参加し、暑さをしのぐ場所を提供しました。

保守点検等でも指摘されていた修繕箇所についても、引き続き、川崎市と協議の上、段階的に実施していきます。令和7年9月の記録的な集中豪雨により1階フロアが浸水による被害を受け電話交換設備及びエレベーターピットが浸水したことにより館内の機能が一時的に低下する事態となりました。利用者用エレベーターについては翌日には運転を再開し、電話機能については臨時電話を設置するなど市社協の協力体制をフルに発揮して利用者に支障のないよう対応いたしました。今後も、常に工夫や改善に取り組み、多様な市民活動の場をサポートしてまいります。

これからも川崎市と協力しながら、豊富な業務経験を活かし、指定管理事業を一層充実・発展させ、地域福祉の増進に貢献してまいります。

5 資料

(1) 地域福祉情報バンク事業資料・・・資料1

(2) 社会福祉研修センター事業資料・・・資料2

(3) 施設・設備の利用提供事業資料・・・資料3

令和７年度 地域福祉情報バンク 総合相談事業統計

１．開設日数：246 日 相談件数：577 件 延べ相談時間：110 時間 1 分

２．相談件数の内訳（専門相談除く）

	相談延 件数	経路別			経歴別	
		電話	来所	その他	初回	継続
ふくし相談	361	327	31	3	214	147
情報バンク	216	90	30	96	92	124
合計	577	417	61	99	306	271

３．相談者の内訳（専門相談除く）

	相談実 人数	性別			経歴別		居住区別								
		男	女	不詳	初回	継続	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳
ふくし相談	245	84	160	1	212	33	25	10	48	28	19	31	23	13	48
情報バンク	133	46	80	7	92	41	14	7	26	16	7	11	7	24	21
合計	378	130	240	8	304	74	39	17	74	44	26	42	30	37	69

４．相談経路別所要時間（専門相談除く）

①電話（平均通話時間：14 分）

	時間計	合計	5分以 内	～10 分	～20 分	～30 分	～40 分	～50 分	～60 分	～90 分	～120 分	121分 ～
ふくし相談	5,158分	327	109	77	55	37	27	10	5	3	2	2
情報バンク	431分	90	73	10	4	1	1	1	0	0	0	0
合計	5,589分	417	182	87	59	38	28	11	5	3	2	2

②来所（平均面談時間：17 分）

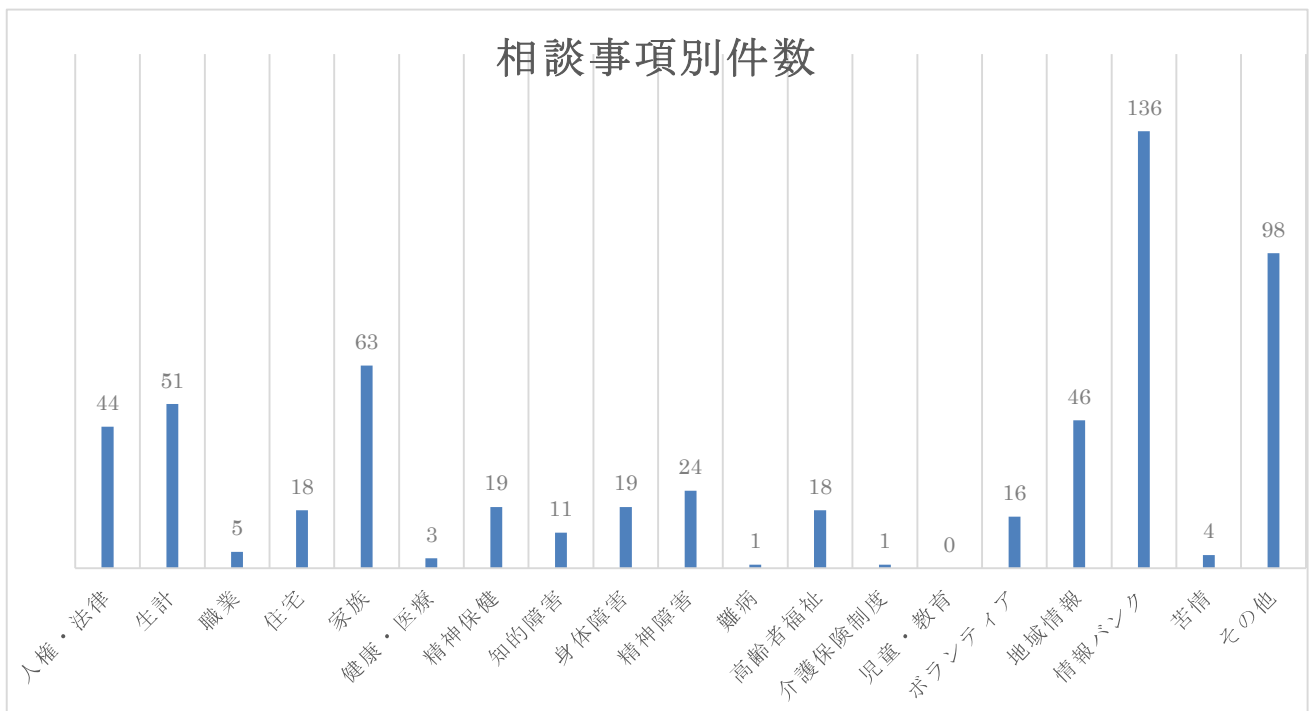
	時間計	合計	5分以 内	～10 分	～20 分	～30 分	～40 分	～50 分	～60 分	～90 分	～120 分	121分 ～
ふくし相談	714分	31	9	3	5	6	2	4	1	1	0	0
情報バンク	298分	30	17	5	5	1	1	0	0	1	0	0
合計	1,012分	61	26	8	10	7	3	4	1	2	0	0

③その他

	件数	訪問	FAX	手紙	e-mail	その他
ふくし相談	3	0	0	0	1	2
情報バンク	96	0	0	0	94	2
合計	99	0	0	0	95	4

5. 相談事項別件数と処理状況（専門相談除く）

相談事項	件数	%	種別		区 別									処理状況				
			ふくし相談	情報バンク	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳	解決	再来	専門相談	関係機関	傾聴
人権・法律	44	8%	42	2	6	3	7	4	4	7	4	1	8	16	3	21	3	1
生計	51	9%	49	2	19	0	11	3	3	5	1	1	8	26	2	6	14	3
職業	5	1%	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	2	0
住宅	18	3%	18	0	2	0	3	0	1	5	1	4	2	9	0	5	2	2
家族	63	11%	62	1	0	2	20	3	8	11	8	3	8	21	1	31	8	2
健康・医療	3	1%	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	0	0	0
精神保健	19	3%	19	0	1	0	3	7	0	0	1	0	7	6	1	9	0	3
知的障害	11	2%	11	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	8	1	0	0	2
身体障害	19	3%	4	15	1	0	0	0	3	3	0	0	12	11	1	0	4	3
精神障害	24	4%	23	1	0	0	5	2	2	14	0	0	1	14	2	1	2	5
難病	1	0%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
高齢者福祉	18	3%	16	2	0	3	3	2	0	7	1	1	1	6	2	1	8	1
介護保険制度	1	0%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
児童・教育	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	16	3%	0	16	2	1	2	2	1	0	2	5	1	12	3	0	1	0
地域情報	46	8%	5	41	3	2	9	4	0	13	2	10	3	42	2	0	2	0
情報バンク	136	24%	6	130	9	6	26	18	7	13	7	36	14	126	10	0	0	0
苦情	4	1%	4	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0
その他	98	17%	94	4	13	5	13	11	7	7	11	9	22	62	1	27	3	5
合 計	577	100%	361	216	57	23	103	56	37	87	51	71	92	366	32	102	50	27



6. 専門相談

相談開設日数 ※1	72
-----------	----

相談件数	83
------	----

相談方法 ※2	来所	電話	職員による相談
	82	0	1

相談内容内訳	遺産相続	消費者被害	権利擁護	労働問題	医療過誤	事件・事故	借金	離婚・家族	住宅問題	病院・施設	SV・DV	その他	合計
弁護士	9	1	0	1	0	1	2	16	5	0	0	8	43

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV	多問題	その他	合計
医師 (精神科)	0	3	0	0	5	1	0	0	1	0	0	1	11

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV	多問題	その他	合計
学識経験者 (臨床心理士)	0	18	0	0	6	0	0	0	1	0	0	4	29

※1 弁護士・医師（精神科）・学識経験者（臨床心理士）はそれぞれ月 2 回の相談日を設定しています。

※2 職員による相談件数は、相談員のスーパービジョン・コンサルテーションも含まれています。

令和７年度 川崎市総合福祉センター社会福祉研修センター事業

① 地域包括ケア推進研修（延べ８回）

実施日	研修名	講師	会場(川崎市総合福祉センター)	申込数	受講者数	動画再生
6月27日	ストレスマネジメント	荒木 乳根子 氏（田園調布学園大学 名誉教授 公認心理師）	6階研修室	31名	28名	
7月25日	楽しく学ぼう！防災のこと	女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクトメンバー、川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）職員	7階会議室	52名	49名	
11月5日	知っていますか？遺言書づくり	福島 衛 氏（司法書士福島事務所代表 司法書士）	7階会議室	52名	45名	26回
12月11日 午前	知的・発達障害のある人と家族を支えるために	太田 修嗣 氏（社会福祉法人春日会 とどろき包括支援センター センター長）	6階研修室	25名	23名	
12月11日 午後				23名	21名	
1月23日	知っていますか？保護司の活動	菱沼 正文 氏（幸区保護司会 会長 保護司）、小美濃 慶子 氏（横浜保護観察所 社会復帰対策官 保護観察官）ほか	6階研修室	33名	31名	
2月27日	知ろう！高次脳機能障害	青木 重陽 氏（神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科第二 リハビリテーション部長）	7階会議室	62名	48名	
3月4日	子どもは育ちなおしの名人	広木 克行 氏（神戸大学名誉教授）	7階会議室	47名	35名	

② 地域課題研修（延べ10回）

実施日	研修名	講師	会場(川崎市総合福祉センター)	申込数	受講者数	動画再生
6月18日①	認知症サポーター養成講座	認知症キャラバンメイト	6階研修室	26名	23名	
6月18日②				25名	23名	
7月29日①	ドローン体験交流会	NPO はたらくらす	7階会議室	58名	10名	
7月29日②				38名	10名	
7月29日③				123組 (246名)	10組 (20名)	
9月5日	ヤングケアラー理解研修	神奈川県社会福祉協議会ケアラー支援専門員、精神疾患を親に持つ子どもの会「こどもびあ」スタッフ	6階研修室	27名	26名	
10月17日	知っていますか？オーバードーズ	小林 桜児 氏（神奈川県立精神医療センター所長）	6階研修室	26名	25名	
11月6日	ゲートキーパー研修	川崎市健康福祉局職員、社会福祉法人川崎いのちの電話 研修担当	6階研修室	26名	21名	
12月12日	山口達也さんによるアルコール依存症と共に生	山口 達也 氏（株式会社山口達也）	エポックなかはらホール	398名	315名	

	きる～セカンド チャンスを目指 して～					
3月6日	津久井やまゆり 園の取材から伝 えたいこと	古賀さくら氏（NHK横浜 放送局）	6階研修室	39名	32名	

③ 地域活動促進研修（延べ9回）

実施日	研修名	講師	会場(川崎市総 合福祉センター)	申込数	受講者 数	動画 再生
6月19日①	初級者向けスマ ホ活用研修	菰田 浩 氏（特定非営利活 動法人川崎スマートライフ 推進会 理事長）	6階研修室	14名	13名	
6月19日②				24名	20名	
7月31日	よしもと Let's レクリエーショ ン	アホマイルド坂本 氏、ジョ イマン 氏、おばあちゃん 氏（吉本興業所属芸人）	7階会議室	78名	68名	
9月9日①	はじめてでもで きるバルーンア ート	近藤 多恵 氏（バルーンパ フォーマー）	6階研修室	24名	20名	
9月9日②				22名	21名	
10月30日	まずは姿勢から ★健康UP研修	小山 圭介 氏（ダイエット トレーナー・メンタルコー チ）	7階会議室	30名	23名	
11月27日	社会的処方って なあに？	西 智弘 氏（川崎市立井田 病院 腫瘍内科部長 / 一般 社団法人プラスケア代表理 事）	6階研修室	45名	39名	5回
1月30日	インターネット セキュリティを 学ぼう	NEC プロボノ倶楽部	6階研修室	31名	26名	
2月26日	はじめての動画 編集	NEC プロボノ倶楽部	6階研修室	46名	18名	

●令和7年度 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 施設・設備の利用提供事業 利用状況一覧表

施設		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均稼働率
ホール	件数		51	43	43	73	62	47	67	68	45	42	49	59	649	65.7% (649 / 988)
	人数		13,812	22,150	19,860	27,520	20,790	16,965	24,731	24,602	18,316	16,486	23,740	20,092	249,064	
	稼働率%		61.4%	49.4%	53.1%	81.1%	81.6%	54.0%	77.0%	78.2%	60.0%	53.2%	71.0%	67.8%		
第1楽屋	件数		27	36	34	50	51	17	36	40	29	25	38	36	419	41.3% (419 / 1,015)
	人数		810	1,080	1,000	1,500	1,530	510	1,080	1,180	870	730	1,140	990	12,420	
	稼働率%		31.0%	41.4%	40.5%	55.6%	65.4%	19.5%	40.0%	46.0%	37.7%	31.3%	48.7%	40.0%		
第2楽屋	件数		34	39	38	59	55	35	51	53	40	35	44	48	531	52.3% (531 / 1,015)
	人数		662	780	760	1,180	1,100	700	1,020	1,060	800	700	880	900	10,542	
	稼働率%		39.1%	44.8%	45.2%	65.6%	70.5%	40.2%	56.7%	60.9%	51.9%	43.8%	56.4%	53.3%		
第3楽屋	件数		36	38	39	55	47	40	55	48	42	35	46	49	530	52.2% (530 / 1,015)
	人数		720	760	780	1,100	940	760	1,086	960	840	700	880	920	10,446	
	稼働率%		41.4%	43.7%	46.4%	61.1%	60.3%	46.0%	61.1%	55.2%	54.5%	43.8%	59.0%	54.4%		
大会議室	件数		49	46	52	64	54	39	50	64	45	42	49	56	610	60.2% (610 / 1,014)
	人数		5,741	5,305	6,753	8,786	6,779	5,095	5,840	7,896	3,574	6,325	6,322	7,265	75,681	
	稼働率%		59.0%	51.1%	61.2%	71.1%	62.1%	45.3%	55.6%	73.6%	61.6%	52.5%	62.8%	65.9%		
第1会議室	件数		44	43	59	66	56	60	51	56	53	52	53	54	647	63.4% (647 / 1,021)
	人数		285	305	435	560	452	469	382	453	422	400	401	407	4,971	
	稼働率%		51.2%	48.3%	68.6%	74.2%	65.1%	69.8%	57.3%	65.1%	67.1%	65.0%	67.1%	62.8%		
第2会議室	件数		50	50	55	64	58	51	59	60	57	47	46	44	641	62.8% (641 / 1,020)
	人数		313	311	396	493	440	388	439	447	382	355	334	319	4,617	
	稼働率%		58.1%	56.2%	64.0%	71.9%	68.2%	59.3%	66.3%	69.8%	72.2%	58.8%	58.2%	51.2%		
第3会議室	件数		46	47	49	57	38	47	55	61	45	44	54	41	584	57.5% (584 / 1,015)
	人数		1,479	1,676	1,855	2,288	1,510	1,943	2,141	2,556	1,787	2,031	2,076	1,661	23,003	
	稼働率%		54.8%	52.8%	57.6%	64.0%	44.2%	54.7%	61.8%	70.9%	59.2%	55.0%	68.4%	47.7%		
和室	件数		24	20	36	30	29	28	34	37	30	38	35	16	357	34.5% (357 / 1,035)
	人数		216	184	388	322	311	276	382	424	289	696	356	127	3,971	
	稼働率%		27.6%	22.2%	41.4%	33.3%	33.3%	32.2%	37.8%	42.5%	37.5%	47.5%	43.2%	18.0%		

〈楽屋を除く施設の利用状況（ホール、大会議室、第1・2・3会議室、和室）〉

合 計	件数	264	249	294	354	297	272	316	346	275	265	286	270	3,488	57.2% (3,488 / 6,093)
	人数	21,846	29,931	29,687	39,969	30,282	25,136	33,915	36,378	24,770	26,293	33,229	29,871	361,307	
	稼働率%	51.9	46.6	57.6	65.9	58.6	52.5	59.2	66.7	59.5	55.3	61.5	52.0		
	楽屋を除く利用可能区分数	509	534	510	537	507	518	534	519	462	479	465	519	6,093	

※稼働率(%)は、件数(利用された区分数)を利用可能区分数で除した割合です。区分は午前・午後・夜間を各1区分とする。人数は申込み時の申請利用人数です。